

## 「癒しの空間を演出する ふわふわクッション」展

川島織物文化館 2022年9月26日(月) ~ 2023年8月31日(木)



クッション地(刺繍)「四君子縫模様」明治期

株式会社川島織物セルコン(本社:京都市左京区 社長:木村弘一)は、本社に併設の川島織物文化館(京都市左京区)で、「癒しの空間を演出する ふわふわクッション」展を9月26日(月)より開催、明治から昭和のはじめに手掛けたクッションの製作資料を紹介します。

ソファやベッドでより快適に過ごすために使われたり、インテリアのポイントとして装飾的に使用されるクッション。その歴史は古く中世ヨーロッパにはすでに使われていたという記録があるようです。当社は、創業二代目の川島甚兵衛が、1886(明治19)年に織物視察のために欧州を訪れたことを機に、室内装飾織物の生産を開始しクッションを手掛けるようになりました。以来、今日まで、様々なクッションの製造販売を続けています。「癒しの空間を演出する ふわふわクッション」展では、二代川島甚兵衛が手掛けた織物や刺繍で装飾した明治期のクッションから、昭和期に生産された抽象的な幾何柄のものなど、時代の変遷とともに移り変わったクッションのデザインを中心に紹介します。

セントルイス万博(1904年)への出展品、御料車へ納めたものや、デザインソースとなった「若冲画譜」など、貴重な作品も展示します。クッションという約45cm四方に込められた表現の数々、ぜひご覧ください。

### 開催概要

タイトル : 癒しの空間を演出する ふわふわクッション

会期 : 2022年9月26日(月) ~ 2023年8月31日(木)

場所 : 川島織物文化館

(京都市左京区静海市原町265)

休館日 : 土・日・祝祭日、夏期、年末年始、

川島織物セルコン休業日

入館料 : 無料

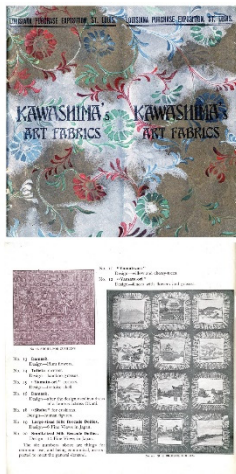
※ ご見学は完全事前予約制です。

※ 新型コロナウイルス感染防止対策を実施しています。

詳細は ホームページ をご確認ください。

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

■ 主な展示作品



上段左：セントルイス万国博覧会「川島織物カタログ」（表紙・6頁） 1904（明治37）年

上段中：クッション地（紋織）「瑞花人物像文」明治期

上段右：クッション地（綴織）「双鶴瑞雲」天皇陛下献上品 1945（昭和20）年

下段左：クッション地（紋織）「菊唐草」（3色） 明治期

下段右：クッション（紋織原画）「唐花蝶」1号（2代）御料車 御座所 澤部清五郎筆 1932（昭和7）年

## ■川島織物文化館 概要

1889（明治 22）年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のこだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192 京都市左京区静海市原町 265

株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前 10 時～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

休館日：土、日、祝祭日、夏期・年末年始（川島織物セルコン休業日）

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制

見学希望日の前日 16 時までに電話でお申込みください。

（※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日）

ご予約専用 TEL：075-741-4323

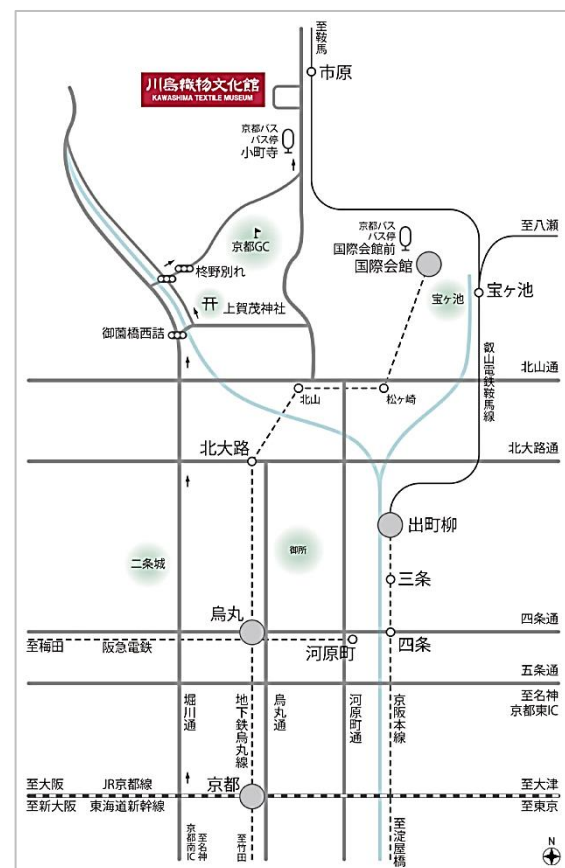
ホームページ：<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

アクセス：●地下鉄「国際会館」駅より

- ・京都バス（50/52 系統）「小町寺」下車 徒歩約 5 分
- ・タクシー 約 10 分

●叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約 7 分

●京都駅より タクシーで約 40 分



## ■川島織物文化館の運営について

川島織物文化館は、新型コロナウイルス感染防止のため、手洗い・うがい・マスクの着用の徹底、咳エチケットの実施などの対策を講じた上で、運営をしています。ご不便をおかけいたしますが、ご来館のお客様にもご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。